必ずお守りください。

安全上のご注意 ▶

⚠警　告

＜アルカリ電池について＞

⑴ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。

⑵万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

＜梱包用ポリ袋について＞

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

液晶パネルについて

●見る方向により表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。

●温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。

●温度が高くなるとパネルの色が黒くなり、判読できなくなることがあります。

●液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分注意してください。
万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

〈皮膚に付着した場合〉
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。

〈目に入った場合〉
きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。

〈飲み込んだ場合〉
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

⚠注　意

＜電池について＞

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

⑴ ⊕⊖ を正しく入れてください。

⑵製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。

⑶この電池は充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。

⑷電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。

⑸直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。

⑹時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。

⑺添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

＜時計の設置場所について＞

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

製品仕様 ▶

●精　　度：平均月差±２０秒
（電波受信による時刻修正を行なわない場合）
（気温５℃から３５℃で使用した場合）

●表 示 精 度：±１秒（時分針は±３度）
（電波受信による時刻修正を行なった直後）

●使用温度範囲：－１０℃～＋５０℃
（ただし液晶表示判読可能温度範囲0℃～＋40℃）

●使 用 電 池：単３アルカリ乾電池２個（ＪＩＳ規格 ＬＲ６）
単３マンガン乾電池２個（ＪＩＳ規格 Ｒ６Ｐ）

●電 池 寿 命：約１年
（アラームを１日につき音量MID(大)で30秒間使用した場合）
※音量切替“ＳＵＰＥＲ”でご使用の場合、大きな電流が流れるため、電池寿命が短くなることがあります。

●電波受信機能：自動受信（１日 ８回）
（受信から次の受信まではクオーツの精度で動いています。）
手動受信（強制受信）
※４０kHz，６０kHzのいずれか受信しやすい電波を自動受信します。

●アラーム：約５分間オートストップ
約５分間スヌーズ
（スヌーズは何回でも繰り返すことができます）

●液 晶 表 示：アラーム時刻表示

●時刻合せ機能：電波受信による自動セットまたは手動セット

●光センサーによる自動秒針停止機能：暗くなると秒針が「１２時の位置」で停止します。

※上記の製品仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

目ざまし時計

取扱説明書

電波クロック

お買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。
（例：AMOOO、PWOOO、KGOOOなど）

フリーダイヤル
お客様センター　0120-315-474

http://www.seiko-clock.co.jp

発売元
セイコークロック株式会社

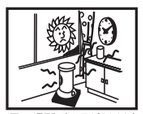
Ⓛ　説明書番号　DNR-002J

必ずお読みになってからご使用ください。

使用場所・お手入れ ▶

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。
機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。


暑い場所（＋50℃以上）

寒い場所（－10℃以下）

振動の激しい場所

湿気の多い場所

●温度が＋50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。

●温度が-10℃（氷点下10度）以下になる所。
〔プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。〕

●塵、埃の多い所。
〔空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。〕

●大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
〔磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。〕

●浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。

●振動のある所。不安定な所。

●工場、台所など多くの油を使用する所。
〔霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まることがあります。〕

●ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計を汚したり傷めることがあります。

●木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、４０度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガレが起きる場合があります。

●電波ノイズを発生させるものの近く。
高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やＯＡ機器の近く。
工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など電波障害の起きる所。
乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）

●スチール机等の金属製の家具の上や近く、金属製の壁の近く。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、２・３年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

●枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。

●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

●よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。

※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

保証・アフターサービス ▶

●この時計はメーカー保証です。
保証の内容については別添の保証書をご覧ください。
尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。

●保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買上店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。

●保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。

●この時計の修理用部品は、３年間保有しています。
この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買上店とよくご相談ください。

●修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。

●保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。

●保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買上店にお持込みいただきます。修理を依頼されるときはお買上店にご持参ください。

●ご不明の点はお客様センターにお問い合わせください。

故障かなと思ったときには ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお電池は買い置き品でなく、新規購入品をご使用ください。

症　状	考えられる原因	処　置
針が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・電池端子や接片が汚れている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・電池端子や接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて２～３回まわしてください。
針が不規則に動く	・強制受信中または時刻修正中である。	・受信終了後、通常の運針に戻ります。
秒針が「１２時の位置」で停止している	・秒針停止機能が動作している。（「7.秒針停止機能」参照） ・自動受信中である。 ・電池が古くなっている。	・室内を明るくすると秒針が動き始めます。 ・受信が終了すると秒針が動き始めます。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。
スイッチ操作が効かない	・受信に成功し、時刻修正中である。 ・リセット後、受信動作中である。	・時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作をしてください。
時刻が合っていない	・受信が成功していない。 ・電池が古くなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・「（電波クロックについて）」をお読みになり、再度受信させてください。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・確実にリセットボタンを押してください。
アラームの音が鳴らない	・アラームスイッチがＯＦＦになっている。 ・静電気等による誤動作	・アラームスイッチをＯＮにしてください。 ・電池を入れなおしてからリセットボタンを押してください。
アラーム時刻になったら針が止まっていた。	・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは

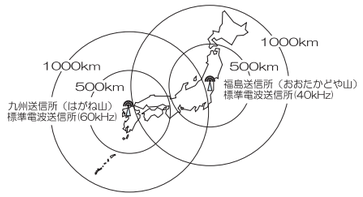
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは

情報通信研究機構（ＮＩＣＴ）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内２ヵ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ１０万年に１秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西２ヶ所）からおおむね１０００ｋｍ～１２００ｋｍです。この製品は４０kHz（東・福島送信所）、６０kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



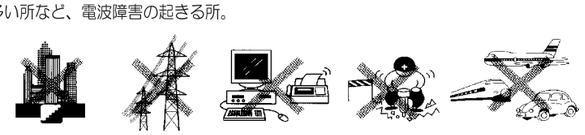
■ご注意

- ●電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- ●電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。
- ●標準電波は、毎時15分と45分からの各１分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧になるか、お客様センターにお問い合わせください。（ホームページアドレス http://www.seiko-clock.co.jp）

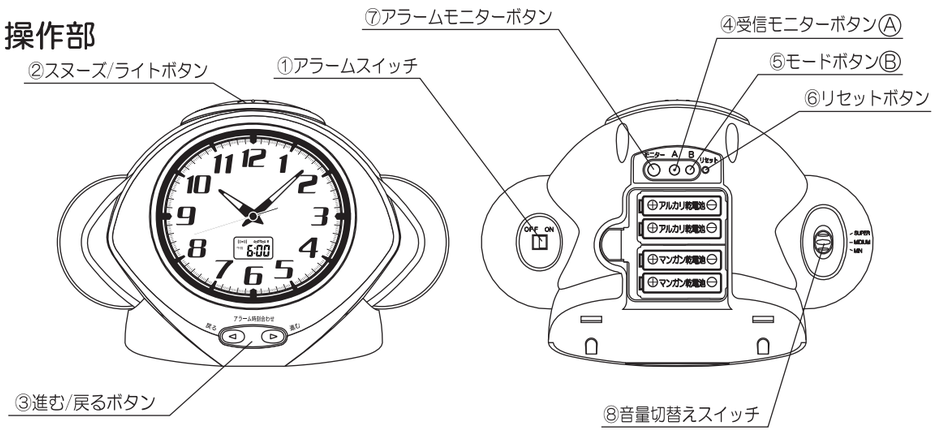
■使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ●ビルの中、ビルの谷間、地下。
- ●高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- ●テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やＯＡ機器の近く。
- ●工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- ●乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- ●その他電波ノイズを発生させるものの近く。
- ●スチール机等の金属製の家具の上や近く。



■ 操作部



① アラームスイッチ
- ・アラームON/OFFの切り替えができます。

② スヌーズ/ライトボタン
- ・アラームが鳴っているとき押すとスヌーズ機能が効き、約５分後に再びアラームが鳴ります。
- ・約５秒間ライトが点灯します。

③ 進む/戻るボタン
- ・アラーム時刻または現在時刻を合わせるときに使用します。

④ 受信モニターボタンⒶ
- ・２秒以上押し続けると、標準電波の受信を開始します。

⑤ モードボタンⒷ
- ・現在時刻を手動で合わせるときに使用します。

⑥ リセットボタン
- ・乾電池を入れ替えた時は必ず押してください。

⑦ アラームモニターボタン
- ・押しつづけている間、時刻に関係なくアラームが鳴ります。

⑧ 音量切替えスイッチ
- ・アラーム音量を調節するときに使用します。

●液晶部表示

■ ご使用方法

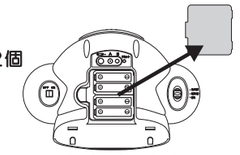
⚠ ご注意

音量切替えスイッチを“SUPER”に合わせると非常に大きなベル音が鳴ります。
- ・耳の近くでのご使用はお避けください。
- ・近隣の方々へのご迷惑にならないようご注意ください。

※ ご使用の前に、表示部の透明シールをゆっくりはがしてください。

1．電池を入れる

単３アルカリ乾電池２個　単３マンガン乾電池２個



(1) 時計裏面の裏ぶたを開けてください。

(2) 電池を入れてください。 ⊕⊖をまちがえないように注意してください。

(3) リセットボタンを押してください。（ボールペンの先などで押してください。）
時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、受信を開始します。
（1：50，3：10，5：50，6：10，8：30，9：10，11：10，12：10）
注）電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

(4) 本機を使用したい場所に置いてください。
この際、窓際などできるだけ受信しやすい場所に置いてください。

● 受信中は受信マークが変化します。（最長約２０分間）
- ・九州送信所からの電波を受信している場合「W」が点灯します。
- ・福島送信所からの電波を受信している場合「E」が点灯します。
（点滅中は受信状態の良好な周波数を選択しています。）

● 受信に成功した場合
受信マークが点灯し、液晶部に現在時刻を表示します。その後自動的に針を現在時刻に合わせます。
針が合った後、液晶部はアラーム時刻表示に切り替わります。

● 受信できなかった場合
受信マークが消灯し、時計が動き始めます。
このとき時分針の時刻修正は行いません。「２．時刻を合わせる」の方法にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

2．時刻を合わせる

2.1 電波を受信して自動的に時刻を合わせる

● 時計裏面の「受信モニターボタンⒶ」を２秒以上押し続けると受信を開始します。受信に要する時間は最長約２０分間です。

※受信中は針が停止します。
受信できない場合は、場所を変えてもう一度受信させてください。
詳しくは「電波クロックについて」をお読みください。
また１日のうちで夜間のほうが昼間にくらべて比較的受信状態が良くなりますので、受信できなかった場合でも一昼夜置いておくと「3.自動受信」により、受信できる場合があります。

2.2 手動で時刻を合わせる

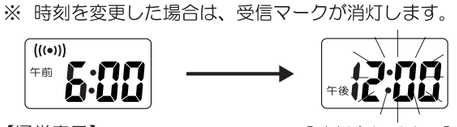
● 標準電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

(1) 時計裏面の「モードボタンⒷ」を２秒以上押し続けてください。
秒針が12時の位置で止まり、アラーム時刻表示が現在時刻表示に切り替わります。

※ 時刻を合わせている間は、針は停止しています。

(2) 時計正面の「進む/戻るボタン」で、時刻を合わせてください。
「進む/戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。

※ 時刻を変更した場合は、受信マークが消灯します。



【通常表示】
普段はこの表示でお使いください。

【時刻合わせ表示】
「進む/戻るボタン」で時刻を合わせてください。

(3) 時刻合わせが終了しましたら「モードボタンⒷ」を押してください。
秒針が動きはじめ、時分針を自動的に修正します。
この間は現在時刻を液晶部に表示します。
約５分以上ボタンが押されなかった場合は、自動的に通常表示に戻ります。
時刻を変更している間は、アラーム時刻になってもアラームは鳴りません。

3．自動受信

(1) 毎日８回、自動で受信を行ないます。
(2) 受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。
受信中（最長約２０分間）は針が不規則な動きをすることがあります。
- ・秒針：１２時の位置で停止
- ・分針：約３０秒ごとに運針

4．アラーム音量を調節する

- ・ＳＵＰＥＲ ― 音量：特大
- ・ＭＩＤ ―― 音量：大
- ・ＭＩＮ ―― 音量：小

5．アラームを鳴らす

● アラーム時刻を合わせる

(1)「通常表示」の状態で、時計正面の「進む/戻るボタン」を押してください。
アラーム時刻が点滅し、アラーム時刻合わせの状態になります。

(2)「進む/戻るボタン」を押して、アラーム時刻を合わせてください。
約５秒間「進む/戻るボタン」が押されなかった場合は、自動的にアラーム時刻が確定し「通常表示」に戻ります。

● 設定した時刻にアラームを鳴らす

時計裏面の「アラームスイッチ」を“ON”にしてください。
表示部にアラームマーク ((•)) が点灯します。
アラーム設定時刻になるとアラームが鳴ります。
アラームの鳴り出しから約５秒間はライトが点灯します。

● アラームを止める

アラームを止めるには２通りの方法があります。

(1) アラームを完全に止める

「アラームスイッチ」を“OFF”にしてください。
アラームが止まり、アラームマーク ((•)) が消灯します。

(2) アラームを一度止めて約５分後に再び鳴らす

「スヌーズ/ライトボタン」を押してください。
アラームが鳴り止まり、約５分後に再びアラームが鳴り出します。
（スヌーズ機能）
スヌーズ中はアラームマーク ((•)) は点滅します。
この操作は何回でも繰り返すことができます。
また、アラームは約５分で自動的に止まります。（オートストップ機能）
この場合アラームマーク ((•)) は点灯しつづけたままとなり、翌日の設定時刻に再びアラームが鳴ります。

6．ライトを点灯させる

● ライトを点灯する

「スヌーズ/ライトボタン」を押すと、ライトが約5秒間点灯します。

7. 秒針停止機能

光センサーにより明るさを検出し、暗くなると秒針を「12時の位置」まで早送りし、停止します。
夜間などに秒針の音を気にすることなくおやすみになれます。
明るくなると正しい時刻まで秒針を早送りし、その後通常運針に戻ります。

※ 照明をつけている場合でも、時計周辺の明るさにより秒針が停止することがあります。

※ 秒針が停止している間でも、時分針は正しい時刻を表示しています。

8. 電波受信を止める

この時計には自動受信を止める機能があります。
（誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合などにご使用ください。）

(1)電池を入れてリセットボタンを押した後に、受信モニターボタンⒶを受信マークが消えるまで（約7秒）押し続けてください。

(2)秒針が動き出したら、左記「2時刻を合わせる　2.2手動で時刻を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。

●この機能を設定した後も受信モニターボタンⒶを受信マークが点灯するまで（約2秒）押し続けると強制受信を開始しますが、その後自動受信はしません。

●この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。

注）通常ご使用の状態で自動受信を止めるには、受信モニターボタンⒶを受信マークが点滅し、その後消灯するまで（約7秒）押し続けてください。